

「クック原子力発電所のクリティカル RP サーベイプログラム」

Mr. Robert HITE (Cook 原子力発電所, 米国)

2013 年春のクック原子力発電所 1 号機燃料取替停止時に、新しい、体系的な放射線防護プログラム情報収集アプローチである「クリティカル RP サーベイ」を確立した。このサーベイの概念は、放射線情報の適切な収集と、この情報を取得し文書化した直後に RP マネージャおよび上級保健物理技術者が直ちにレビューする機会を保証するものである。

経験により、放射線防護プログラムの意志決定を支援するクリティカル・サーベイ情報が体系的に収集され、レビューされ、放射線防護プログラムの意志決定支援が保証されることが実証された。

プログラムの中心は、一次系の化学戦略、作業員の効率に関する作業管理形態と運用方法、および全体的な発電所の放射線被ばく防護を評価するための情報収集する能力である。クリティカル・サーベイの要件として、以下が示されている。

- ・立案と議論のための時間を見越しておくように、実施に先立って選定されること。
- ・RP スーパーバイザからサーベイを行なう技術者まで作業前ブリーフィングを行うこと。
- ・文書(テンプレート)、サーベイ機器および測定される放射線を含むこと。
- ・サーベイは以前に実施した技術者によって完了されること、又はそれを実施した技術者かスーパーバイザによって説明されること。
- ・作業開始の前に、管理者によってレビューされること。
- ・シフトの終了までに技術者によって文書化されること。

Examples of Critical Surveys

**AEP AMERICAN
ELECTRIC
POWER**

- Initial steam generator bowl surveys
- EPRI standard radiation point surveys
- Containment entries at power surveys
- Before and after crud burst surveys
- Before and after refueling cavity decon
- Surveys for large dose estimates or risk
- Initial alpha characterisation surveys
- Any other survey selected by RP supervision

COOK NUCLEAR PLANT